

新・神代の戦士

拒絶の巫女

体験版

ざこぎやら堂

R-18G



第一章

待ち合わせ



(待ち合わせの場所に間違いないわよね…)
「巫女様、どこですか？」



「巫女様、聞こえますか？ わたしです」



「護衛の依頼の件で来ました！」



「もし近くにいたら、出てきてください」
——これは、これは



「!？」

——欠片をはじくとは、見事だな。鎧のおかげかな？

(……念話……上位の魔法の使い手だわ)



——さて、君の探し人が、心配だろ？
（！！ 巫女様のこと？）
——腕を頭の後ろに組んでくれたら教えてあげるよ



「……………」

——いい娘だね。さて、探し人が大事なら



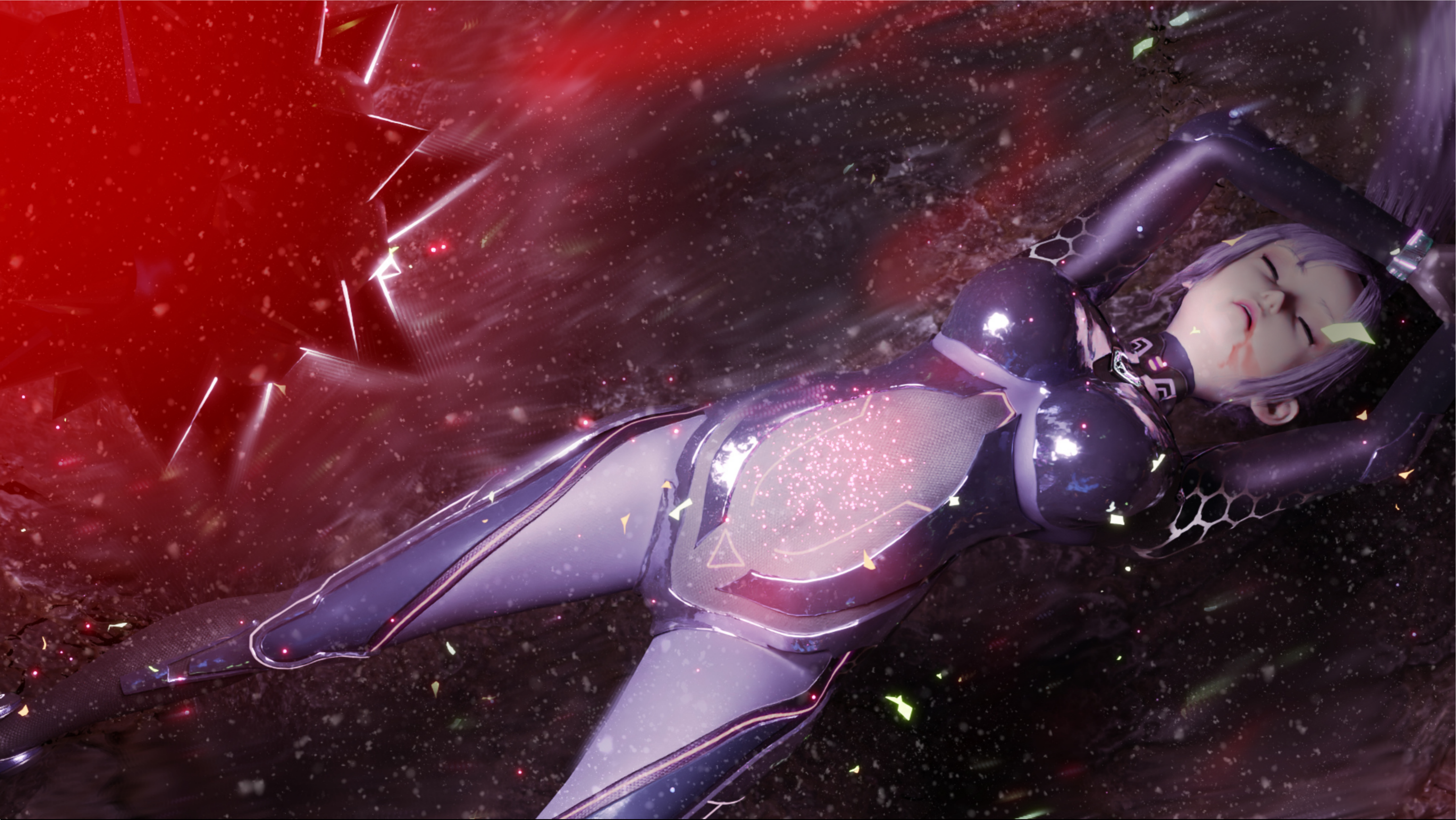
——避けてはいけないよ
「……っ……！！」



(あ…これは…肉片だわ……)



(蘇りつつある邪神の一部で…依頼の対象…)



——ありがとう
「……うう……」



「きゃああー！？」
——君が避けないほうに賭けていたんだ



(……あ……意識が……)

——お礼に教えてあげよう。我々も巫女を探していたんだよ。
君をおいて一人で逃げた女のために、こんな目にあうなんて…



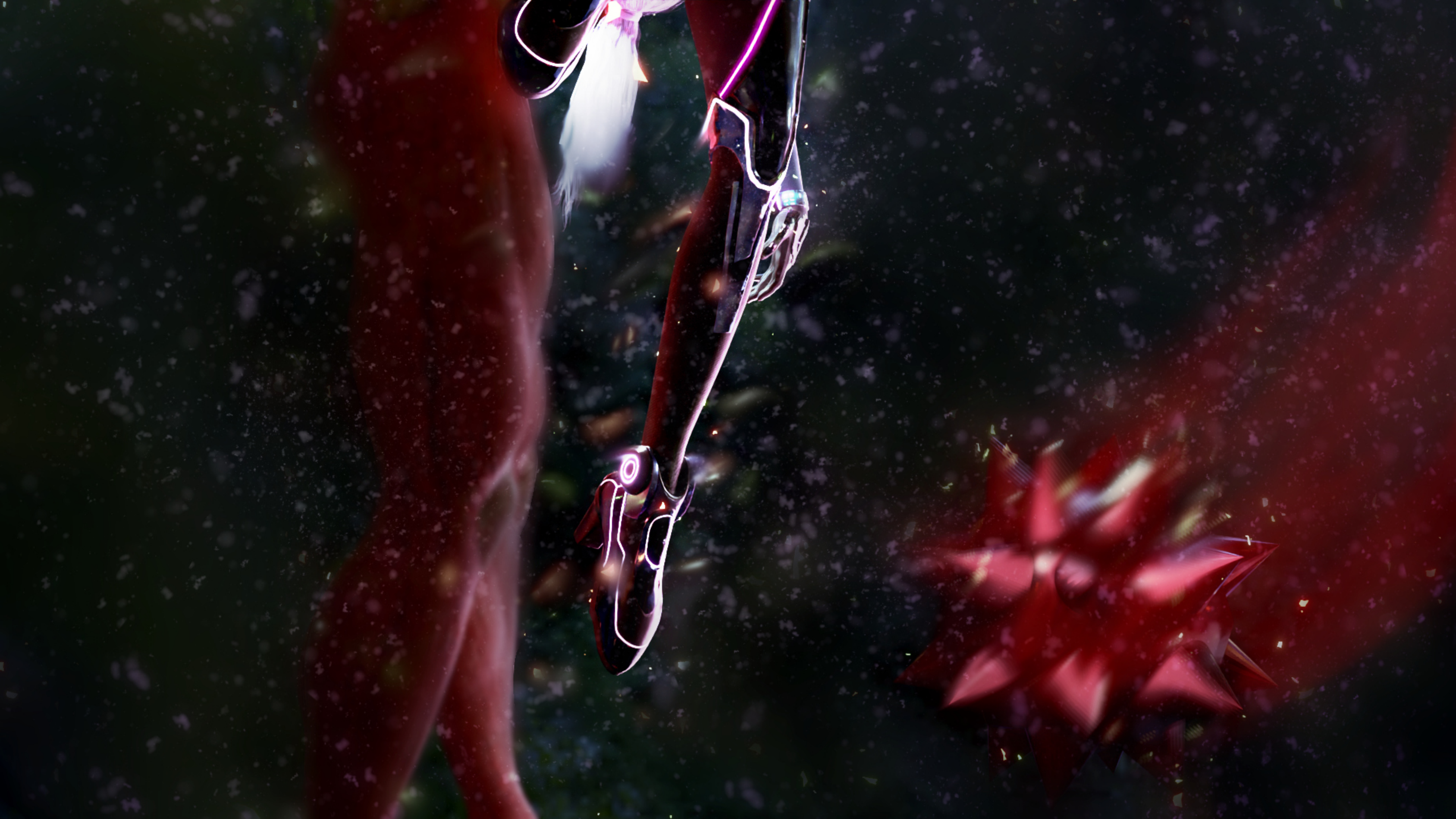
(……巫女…さま…)

——なんて滑稽で、可哀想なんだ。はははははは！！

第一章 完

第二章

繋がり



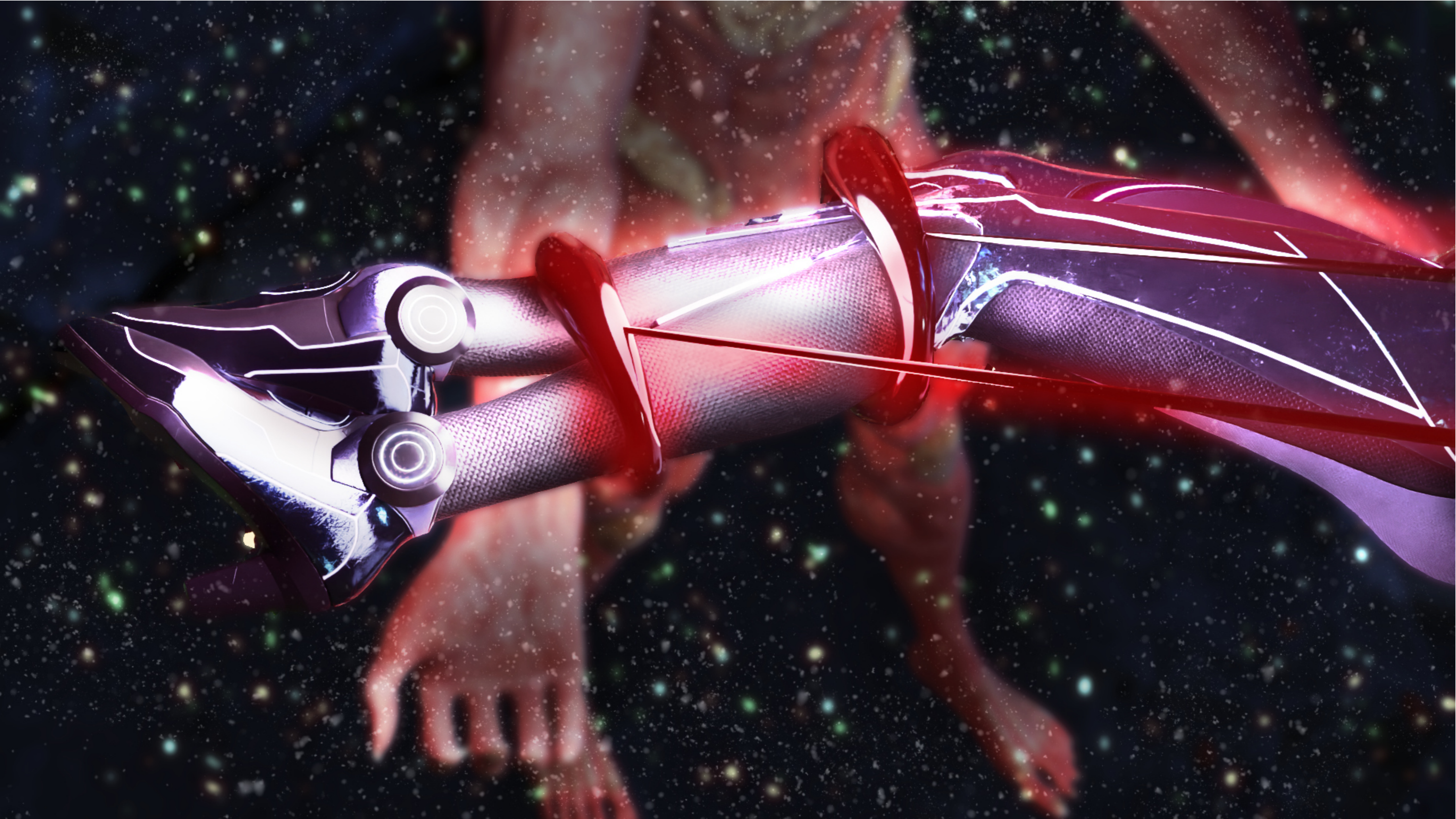
——ねえ



——ねえったら！ 返事しなさいよ！
(……だ…れ…?)



——念話、使えるんでしょ！ すっぽかしされて、怒っているの！？
(……身体が痺れて動かせない……)



——あたしだって、大変だったのよ！

「う……」

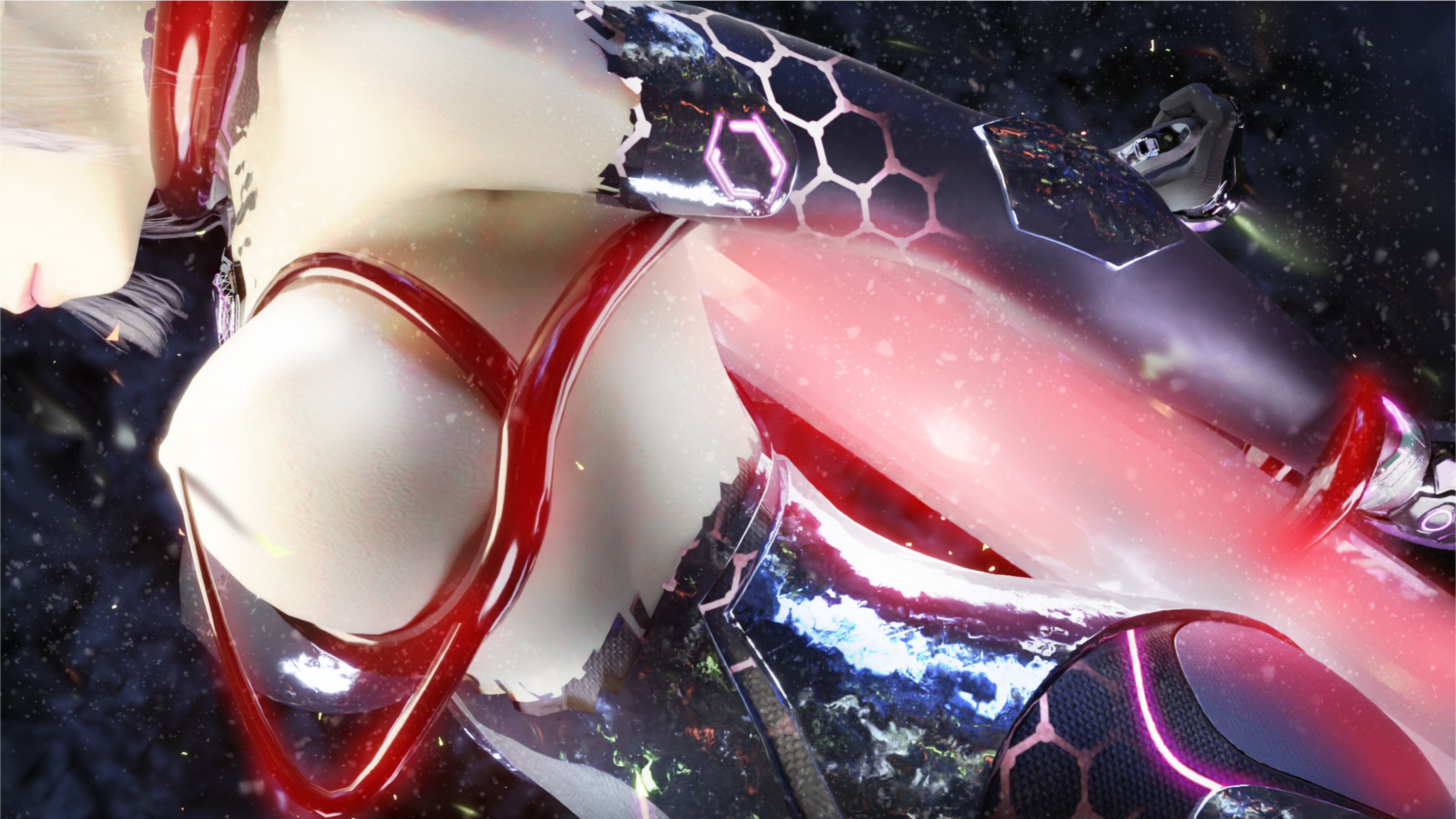
(……何かが巻き付いて?)



——とにかく、返事してよ！

「……あ…痛っ！」

(……意識がハッキリとしてきたわ…巫女様が念話で語りかけている…結界を感じる…なのに…)



——…少しは悪いと思っているわよ

「……………」

（！ 巫女様は、近くに……結界の内側にいるんだわ。まだ察知されていないのね）



——ああ、もう、認めるわよ、全面的に悪かったわよ
(体力の回復に集中しながら、状況を知らせて…)



——悪い奴らに追いかけて、必死で逃げてたの、余裕がないの
(援軍を呼んでもらいたい)

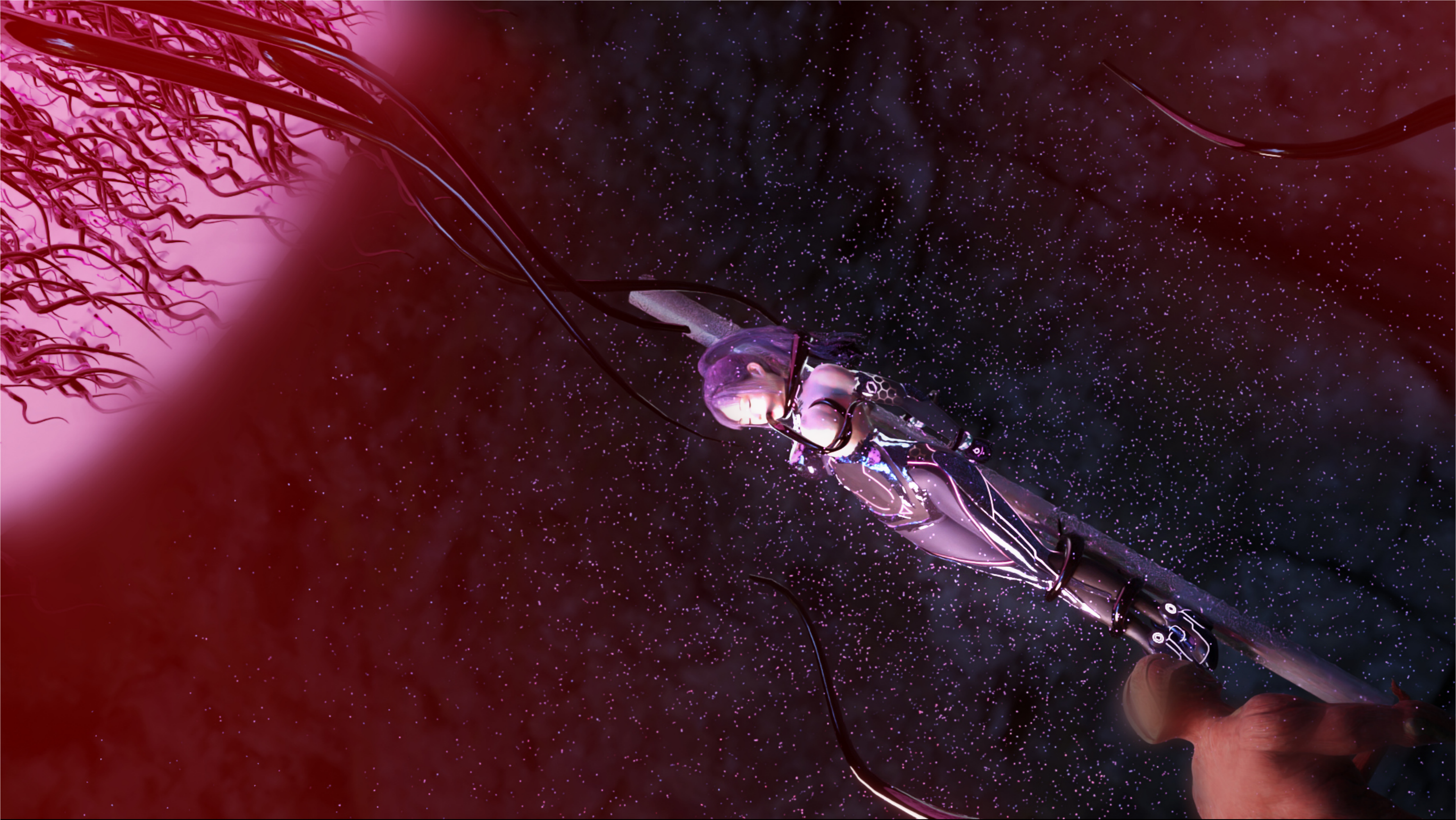
「.....」



——……ねえ、あんた、大丈夫よね
「っ！」
(何かが、流れ込んでくる!?)



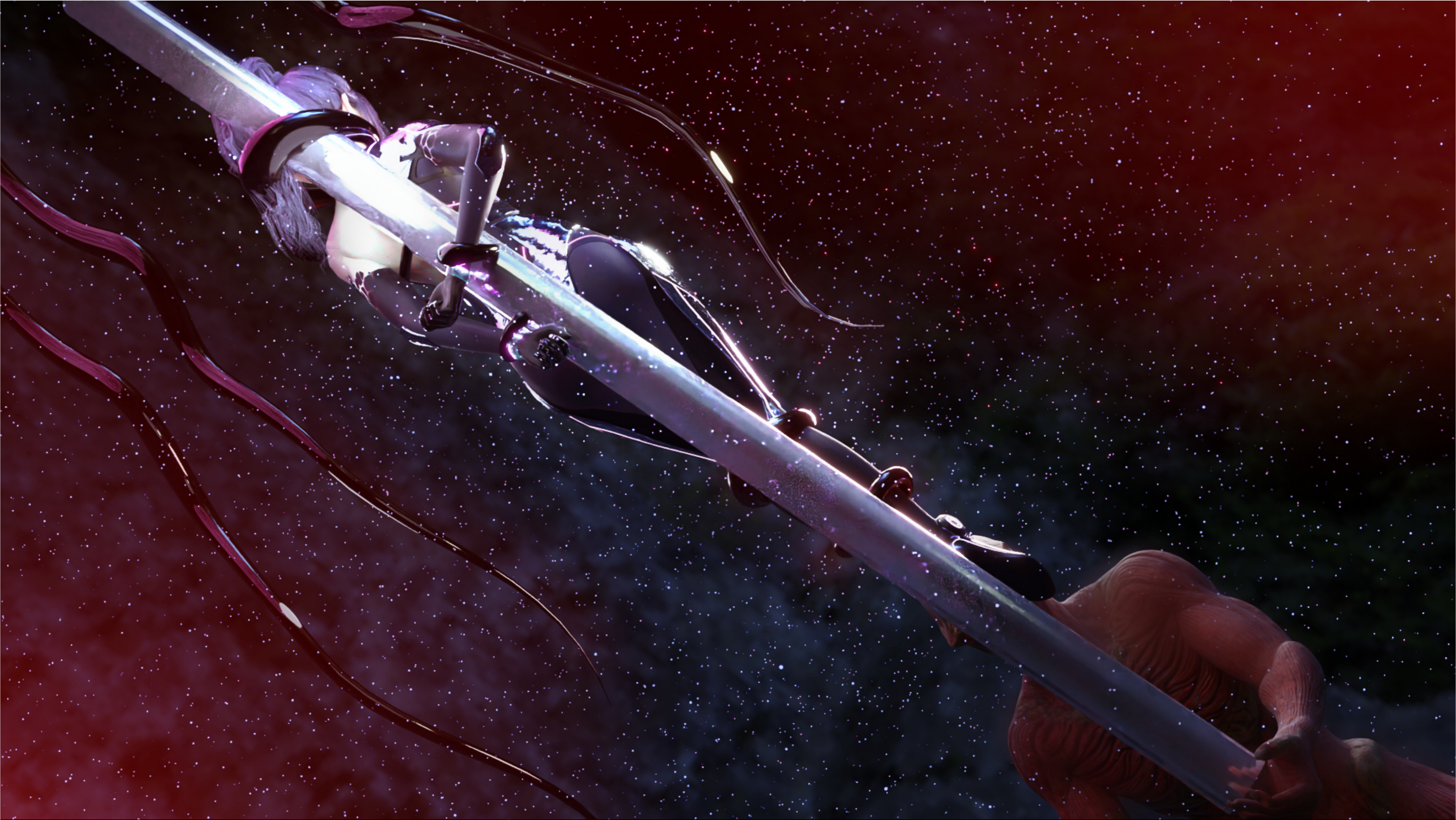
——その、無事よね？
「ぐっ！ ごほっ！」
(…毒を…体内に……身体の痺れが…強くなっていく……)



(…はやく…念話で………)

——ど、どうしよう……よし、大体の場所はわかるわ。いまからそっちに…

——巫女様、聞こえますか？



——あ、よかった！
——さっきから、うるさいです。二度と念話してこないで
——うん、わかった……………って、はあああ！！？ はいはい、わかったわよ、 うう……バーカバーカ！！



——おや？ おやおや、気配が消えてしまったではないですか。
——あなた達の繋がりから、もう少しで、たどれたのに。
——ご協力をお願いするよう説得しないと…ククク、ひひひひひひひ！！

第二章 完



新・神代の戦士
拒絶の巫女

2023年 6月発売

ざこきやら堂

<https://ci-en.dlsite.com/creator/4479>